

目的と方法 前回の報告で基準尺度を使用する試みを付加したが、引き続きこれについて検討した。また長さの等分の量感についての実験結果を報告する。

長さの基準尺度としての身度尺の実態調査を行った。小・中・高・大学生各300名を対象に、身体の16部位の長さを実測し、内4部位を使用した。重量の基準尺度には、食品、器具など、10余種についてその適否と用法を吟味した。なお、実験方法はいずれも前報に準じた。

結果 I、適切な基準尺度の使用によって、長さ、重量ともに、学習の初期の段階には非常に有効で、対照グループに比べて短期間に量感が向上し、基準尺度を必要としないところまで達した。II、長さの2等分の量感是最もすぐれ、何よりも容易である。したがって2ⁿ等分は、2等分のくり返しを行う。3等分以上奇数等分は2等分との組み合わせなどの方法を考案し、よい結果を得た。